

## 平成29年度 第3回人権教育パワーアップ講座

- 1 日時及び会場 平成29年12月25日(月) 9:15~16:00  
御所市人権センター、水平社博物館、旧御所町周辺
- 2 参加者 人権教育ミドルリーダー育成講座第5期受講者 6名  
人権教育パワーアップ講座第1期受講者 11名 計17名
- 3 日程  
9:15~9:20 開会  
9:40~11:10 講義  
11:25~12:30 水平社博物館展示見学  
13:40~16:00 旧御所町周辺フィールドワーク

### 4 内容(概要)

#### ○第1講座(講義)

「男女共同参画の推進に向けて」～自分らしく生きるために～

講師 女性ライフサイクル研究所Felién(フェリアン) 森崎 和代

- ・ 生物学的(生理的)な女性、男性の違いをセックスというのに対して、社会的・文化的な女性、男性の違いをジェンダーという。ジェンダーには個人の生きにくさにつながる価値観が付随する場合が多く、「男らしさ」「女らしさ」ではなく、一人一人の「自分らしさ」を大切にすることが重要であると考え。また、「隠れたカリキュラム」として教育の中に潜むジェンダーが、子どもたちに影響を及ぼすことに意識を向けることが必要である。
- ・ 「ジェンダーフリーとは、男と女の差をなくすことではなく、ジェンダーから自由になること。自由とは自分で選択すること。」だと考える。一人一人が自分らしく輝ける学校や社会の現実に向けて、教育環境づくりをすることはとても大切なことである。



#### ○水平社博物館展示見学

解説 県立同和問題関係史料センター所長 奥本武裕

- ・ 数多くの文献や史料、映像等をもとに、1階「人権ふるさとマップ」にて「柏原」の歴史等について、2階展示施設にて水平社運動の創立前史から創立後の運動の展開等について見学・学習した。
- ・ 直筆の書簡やメモ等、貴重な史料の解説を通して、部落差別の解消のために取り組んできた多くの人々の姿に触れ、これからの取組の道筋について考えを深めた。



#### ○第2講座(旧御所町周辺フィールドワーク)

講師 県立同和問題関係史料センター所長 奥本武裕

(コース) 高札場~恵比寿神社~太神宮~真竜寺~代官町~東御所環濠~圓照寺

- ・ 奈良盆地南部の中心であった旧御所町の成立と発展を、寺社との関わりで捉えるとともに、地域社会の結びつきを確認することを通して、地域を教材化することの意味や視点について学んだ。



### <参加者の声より>

- ・ 講義を通して、今の社会で誰もが「自分らしく生きる」ことの難しさに気づかされた。子どもたち全員が「自分らしさ」を育むことができる学級づくりをするために、私たち教師は、いろいろな人の想いを知り、様々な知識を得るため「学ぶ」ことが必要である。
- ・ 採用されて間もない頃訪れた水平社博物館の見学では、差別や全国水平社設立の実態について考えるに留まっていた。自分自身学習を重ね、今回の見学では歴史的な事実だけではなく、その時代を生き抜いた人々の思いや願いにも触れることができ、展示一つ一つに存在感や輝きを感じられた。
- ・ フィールドワークでは、御所町の歴史を知るだけでなく、人権教育において地域教材を活用した学習をどのように進めていけばよいかを学んだ。また、自分自身が校区の歴史や生活、文化について学び、子どもたちに何を伝えていけばよいかを明確にしていく必要があることを強く感じた。